

レゴ® エデュケーション プレスクール

ミニフィグゲームの 遊び方



LEGO® Education
Preschool

SO MANY WAYS TO
LEARN, TOGETHER



LEGOeducation.jp

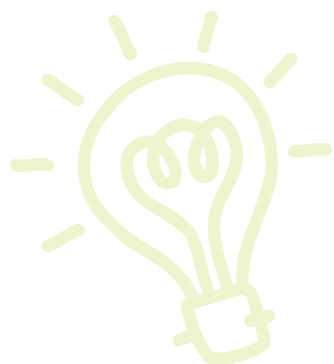


education

LEGO and the LEGO logo are trademarks of the/son des marques de commerce du/
son marcas registradas de LEGO Group. ©2017 The LEGO Group. 2017.01.20.

はじめに

ユニークなお人形を使って子どもたちの想像力をふくらませましょう。ゲームに夢中になるうちに、お話がどんどん生き活きとしていきます。子どもたちは、楽しくゲームをしながら仲良く遊ぶためのルールや思いやり、言葉、算数などを学んでいきます。付属のゲームカードは組み立て説明書としても使用できます。全21体のミニフィグの組み立てにかかる時間は約20分です。ゲームはそれぞれ約10分間遊べるようデザインされています。



内容

ゲーム	ページ
ミニフィグ わたしはだれ?	03
ミニフィグ 神経衰弱	04
ミニフィグ 間違い探し	05
ミニフィグ 数比べ	06
ミニフィグ どんな子?	07
ミニフィグ 仲間はずれ	08
ミニフィグ 果物数合わせ	09



ミニフィグわたしはだれ？

人数

2～3人

準備

プレイヤー全員で協力してすべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て、並べます。プレイヤーの1人がカードを切って、絵が見えないよう下向きに置いてください。

ゲーム概要

カードのミニフィグを当てた人が勝ちです。

主な学習項目

言葉、自己表現

- ・話す、聞く

算数

- ・質問をする
- ・問題解決能力

社会性、情緒面の発達

- ・順番を守る

遊び方

- ・最初のプレイヤーは、ほかのプレイヤーたちに見えないようにしながらカードを1枚選びます。
- ・2番目のプレイヤーは、このカードのミニフィグを当てるヒントになるような、「はい」か「いいえ」で答えられる質問をします。例えば、「ミニフィグは男の子ですか?」というような質問です。
- ・最初のプレイヤーが質問に答えたら、2番目のプレイヤーはミニフィグの列の中からこの答えに合わないものをのぞいてください。カードのミニフィグを推測して答えます。
- ・誰かがカードのミニフィグを当てられるまで、順番に質問をしていきます。
- ・もし推測したミニフィグが間違っていたら、そのプレイヤーは次の番に質問ができません。
- ・カードのミニフィグを当てられた人が勝ちです。

ほかの遊び方

ミニフィグとカードの数を減らすと、ゲームの難易度を下げることができます。

例えば、ミニフィグを4体だけにして、このミニフィグのカードだけを使うようにします。



ミニフィグ神経衰弱

人数

1~4人

準備

プレイヤー全員で協力してすべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て並べます。

カードを切って、絵が見えないよう下向きにして並べます。カードとミニフィグの数は子どもたちの発達段階に合わせて調節してください。

ゲーム概要

カードとミニフィグのペアを1番多く作れた人が勝ちです。

遊び方

- 最初のプレイヤーはミニフィグを1体選び、このミニフィグの絵が描かれたカードがどこにあるかを考えて1枚めくります。
- カードの絵が選んだミニフィグと同じであれば、そのミニフィグとカードを獲得できます。
- カードの絵が選んだミニフィグと違っていれば、カードをとミニフィグを元の場所に戻します。
- 次に、2番目のプレイヤーがミニフィグを1体選び、同じようにカードを1枚めくります。
- すべてのミニフィグのカードが見つかったらゲームは終わりです。
- 獲得できたペアの数が1番多いプレイヤーが勝ちとなります。

主な学習項目

言葉、自己表現

- 話す、聞く

算数

- 観察 & 描写
- ペアを作る & 数える
- 記憶 & 集中力

社会性、情緒面の発達

- 順番を守る



ミニフィグ間違い探し

人数

2～4人

準備

プレイヤー全員で、すべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て、並べます。点数をつける系のプレイヤーを1人選んでください。

カードを切って、絵が見えないよう下向きにして並べます。カードとミニフィグの数は子どもたちの発達段階に合わせて調節してください。

ゲーム概要

カードと異なる2体のミニフィグを見つけ、できるだけ多くの間違いを元に戻せた人が勝ちです。

遊び方

・最初のプレイヤーはカードを2枚選び、ほかのプレイヤーに見せます。

・ほかのプレイヤーたちはこの2枚のカードの絵を数秒間よく観察します。そのあと、目を閉じるか、ミニフィグが見えないよう逆の方向を向いてください。

・この間に、最初のプレイヤーは自分が引いた2枚のカードのミニフィグの何かを変えるいたづらをします。

– 2体のミニフィグのパーツを交換することもできます。

– それぞれのミニフィグのパーツの位置を変えるだけでもかまいません。

・ミニフィグの変更が終わったら2体とも元の場所に戻し、ほかのプレイヤーに見てもいいことを伝えます。

・ほかのプレイヤーは順番にミニフィグの何が変わったかを当て、元に戻していきます。すべて元に戻ったらゲームは終わりです。

・最初のプレイヤーはカードを見て、すべて元に戻ったことを確認します。

・点数係は、元に戻せたプレイヤーに点数をつけていってください。

・2番目のプレイヤーがカードを2枚選び、同じようにゲームを続けます。

・1番多く元通りにできた人が勝ちです。

ほかの遊び方

1. どこが変わったかがなかなか見つけられない場合は、カードを見てもよいこととします。

2. 引いたカードをほかのプレイヤーに見せず、ミニフィグの名前も秘密にしておくと、ゲームの難易度を上げることができます。

主な学習項目

言葉、自己表現

・話す、聞く

算数

・観察 & 描写
・記憶 & 集中力

社会性 & 情緒面の発達

・順番を守る



ミニフィグ数比べ

人数

2~4人

準備

プレイヤー全員で、すべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て並べます。

プレイヤーの1人がカードを切り、全員にカードを1枚ずつすべて配ります。全員のカードの枚数が同じであることを確認してください。余分なカードとそのカードのミニフィグは離れた場所に置いておきます。

ゲーム概要

選ばれたカテゴリで最も高い点数のカードを出し、ミニフィグを1番多く獲得できた人が勝ちです。

遊び方

- 最初のプレイヤーは自分のカードを見てカテゴリを1つ選びます。カテゴリは、道具、宝物、魔法、強さの4つです。
- 最初のプレイヤーはほかのプレイヤーに選んだカテゴリを教えます。例えば、「魔法」(つえのイラスト) のカテゴリを選んだとします。
- プレイヤー全員が自分のカードの中から1枚選び、絵が見えるように出します
- 選ばれたカテゴリでの数が1番大きいカードを出したプレイヤーが、出されたカードとそのミニフィグをすべて獲得します。
- 勝ったプレイヤーは、出されたカードの絵のミニフィグをすべて獲得し、それぞれのカードの上に乗せておきます。

・同点となった場合は、1枚ずつカードを出して勝ちを決めます。より大きい数のカードを出したプレイヤーがこの同点マッチとその前の回のカードとミニフィグをすべて獲得します。

・カードは全て1回しか使えません。

・各回で勝ったプレイヤーが次の回のカテゴリを決め、最初のカードを出すことができます。

・すべてのミニフィグとカードが獲得されたらゲームは終わりです。

・獲得したカードとミニフィグの数が1番多いプレイヤーが勝ちとなります。

ほかの遊び方

- カードを手にもつのが難しい場合は、それぞれが自分の前に絵の面を上にしてカードを並べるようにしてください。
- プレイヤー全員が同時にカードを1枚出して点数を競うようにすると難易度を下げることができます。最初のプレイヤーがカテゴリを決めます。選ばれたカテゴリでの数が1番大きいカードを出したプレイヤーが、出されたカードとそのミニフィグをすべて獲得します。「遊び方」のルールにしたがってゲームを進めます。
- 数字を比較するのが難しい場合は、数字目盛りを使ってください。プレイヤーたちに、自分が出したカードの選ばれたカテゴリに当たる数を目盛り上で見つけ、そこにカードを置くよう指示します。どのプレイヤーの勝ちか子どもたちに聞いてみましょう。

カテゴリ

道具



魔法



宝物



強さ



主な学習項目

言葉、自己表現

- ・話す、聞く

算数

- ・観察 & 描写
- ・問題解決能力

社会性 & 情緒面の発達

- ・順番を守る

このゲームで遊ぶことができるのはレゴ。絵本の人形セット(45023)のみです。

ミニフィグどんな子？

人数

2～4人

準備

プレイヤー全員で、すべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て並べます。ミニフィグに取りつけられないアクセサリは離れた場所に置いておきます。プレイヤーの1人がカードを切って、絵が見えないよう下向きに置いてください。

ゲーム概要

カードのミニフィグを1番に見つけて紹介し、1番多く獲得した人が勝ちです。

遊び方

- 最初のプレイヤーは1番上にあるカードを1枚引き、全員が見えるように絵の面を上にして置きます。このプレイヤーがこの回の審判になります。
- そのほかのプレイヤーは、誰が1番にこのカードのミニフィグを見つけられるかを競います。審判は、1番早かったと判断したプレイヤーを指差します。
- 1番に選ばれたプレイヤーは、そのミニフィグについて簡単に紹介してください。例えば、「この女の子の名前はソニアです。ソニアはスケートが好きです」というように紹介します。

- ミニフィグを1番に見つけられたプレイヤーは、その度に自分でどんなミニフィグか考え、ミニフィグを紹介します。
- 1番になったプレイヤーが数秒間のうちに紹介を思いつかなかった場合は失格となり、カードを山に戻さなくてはなりません。
- 1番になったプレイヤーがすばやく紹介できたら、そのカードとミニフィグを獲得し、自分の前に置くことができます。
- プレイヤーは順番に1番上にあるカードをめくってゲームを続けます。
- すべてのミニフィグとカードが獲得されたらゲームは終わりです。
- 獲得したカードとミニフィグの数が1番多いプレイヤーが勝ちとなります。

ほかの遊び方

ミニフィグについての紹介は、自分で考えた内容のかわりに、観察して見つけたことでもよいとします。例えば、「このミニフィグは帽子をかぶっています」でも合格です。

主な学習項目

言葉、自己表現

- 話す、聞く

算数

- 観察&描写
- 問題解決能力

社会性&情緒面の発達

- 順番を守る
- 役割と責任



ミニフィグ仲間はずれ

人数

2~3人

準備

プレイヤー全員で協力してすべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て並べます。プレイヤーの1人がカードを切って、絵が見えないよう下向きに置いてください。

ゲーム概要

グループで協力し、3体のグループの中で1つだけ異なるミニフィグとその理由を見つけ、6体のミニフィグを獲得したら勝ちです。

遊び方

- 最初のプレイヤーはカードを3枚引き、カードの示すミニフィグ3体を見つけます。
- 次に、カードを引いたプレイヤーはこの3体の中で共通点があると思う2体をペアにします。
- 残りの1体は離れた位置に置きます。
- ほかのプレイヤーたちは、このミニフィグがなぜほかの2体と違うかを考え、順番に説明していきます。きちんと説明できれば、OKとします。
- どのプレイヤーも違いを説明できない場合は、正解なしとして、このミニフィグ3体とカードは離れた場所に集めてください。

プレイヤーのうちの誰かがミニフィグの違いを説明できた場合は、カードを引いたプレイヤーはペアのミニフィグとカードを自分のグループの手元に置き、残った1体のミニフィグとそのカードを元の場所に戻します。

すべてのミニフィグが獲得されるまで、順番に従って1人ずつカードを引き、ペアを作り、違いを当てていきます。

プレイヤー同士で協力し、グループで6体以上のミニフィグを獲得できれば、全員が勝ちになります！

ほかの遊び方

カードを使わずに遊ぶと難易度を下げることができます。プレイヤーたちに、ミニフィグを観察し、複数のグループに分けるよう指示し、それぞれのミニフィグがなぜそのグループに属するのか尋ねます。ミニフィグについてストーリーを作るよう促してみましょう。

主な学習価値

初期の言語&読み書き

- 話す&聞く

初期の数学&理科

- 仕分け&分類

社会性&情緒面の発達

- コラボレーション能力
- 順番を守る
- 関係の理解



ミニフィグ果物数合わせ

人数

2~3人

準備

プレイヤー全員で、すべてのミニフィグをカードの絵の通りに組み立て、並べます。

プレイヤーの1人がカードを切り、全員にカードを1枚ずつすべて配ります。全員のカードの枚数が同じであることを確認してください。余分なカードとそのカードのミニフィグは離れた場所に置いておきます。

ゲーム概要

手持ちカードを組み合わせて指定された数のリンゴまたはバナナを提示し、ミニフィグ10体を獲得できれば勝ちです。

遊び方

- 最初のプレイヤーは、カードを見ずに、1から10のうち好きな数と、バナナとリンゴのどちらかを言います。
- すべてのプレイヤーは自分のカードを見て、カードに描かれた絵を合わせて、リクエストされた個数の果物を作ることができるかを考えます。
- 個数が正しく合ったカードを提示することができたプレイヤーは、使ったカードに描かれたミニフィグを獲得します。例えば、最初のプレイヤーが「バナナ7本」と言った場合、自分のカードを組み合わせて合計7本のバナナを作ることができたプレイヤー全員がそのカードを出し、使ったカードのミニフィグを獲得します。
- 例えば5本のバナナがのったカードと2本のバナナがのったカードを出すことができます。

- その他に、1本のバナナがのったカードと6本のバナナがのったカード、または4本のバナナがのったカードと3本のバナナがのったカードを出しても正解です。

• 誰かが合計10体のミニフィグを獲得できたら、またはカードがなくなったらゲームは終わりです。

ほかの遊び方

- カードを手にもつのが難しい場合は、それぞれが自分の前に絵の面を上にしてカードを並べるようにしてください。
- プレイヤー同士でカードを組み合わせて指定された数を作ると、チームワークのよい練習になります。例えば、4とリンゴが指定された場合、最初のプレイヤーがリンゴが2つのったカードを出し、次のプレイヤーがリンゴが2つのったカードを出せば正解です。最初のプレイヤーがリンゴが1つのったカードを出し、2番目のプレイヤーがリンゴが1つのったカードを出し、3番目のプレイヤーがリンゴが2つのったカードを出しても正解です。
- 足し算から引き算にするとゲームの難易度を上げることができます。最初のプレイヤーが指定する数を和ではなく差であると考え、引き算の結果が指定された数になるカードの組み合わせを考えます。例えば、最初のプレイヤーが「バナナ3本」と言った場合、2番目のプレイヤーがバナナが5つのったカードを出し、3番目のプレイヤーがバナナが2つのったカードを出せば正解です。

主な学習項目

算数

- ペアを作る & 数える
- 基本的な足し算 & 引き算

社会性 & 情緒面の発達

- コラボレーション能力
- 順番を守る



このゲームで遊ぶことができるのはレゴ。新はたらく人形セット(45022)のみです。